

1 多職種人材育成のための医療安全教育センターを設置



教育関係共同利用拠点の事業に全学体制で取り組むため、新たな組織として、「多職種人材育成のための医療安全教育センター(PSEC)」を2023年10月20日に設置しました。

本センターは、医療職の養成機関のハブとなる教育関係共同利用拠点として、「チームワーク、リーダーシップ、システム思考、質改善といった医療安全の視点を取り入れた国際標準の医療安全教育手法」に基づいて、全国の多職種の人材育成に関わる教員へFD（ファカルティ・ディベロップメント）を行うもので、主に次の事業を展開します。

医療安全教育手法の国際的な知見の収集・統合

医療安全教育コンテンツの開発と共有

医療安全教育手法の開発と共有

多職種の医療安全教育のネットワーク形成



2 東京大学 東 尚弘先生によるFDを開催



2024年1月11日(木)に東京大学大学院医学系研究科 公衆衛生学／健康医療政策学 教授 東 尚弘先生をお招きし、「医療の質評価の現状と課題」と題してご講演いただきました。本講演は、大学院の科目「医療サービス研究・質評価実習」及び医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点FDとして実施し、大学院生及び教職員合わせて37名が参加しました。

医療の質の概念及び医療の質を評価する手法について、具体例を交えながら大変解りやすくお話いただきました。



医療サービス研究・質評価実習
医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点 FD

「医療の質評価の現状と課題」

東 尚弘 先生
東京大学大学院医学系研究科
公衆衛生学・健康医療政策学 教授

日時 令和6年1月11日(木)
18:00~19:00

会場 アメニティ講義室

医学の急進的発展によって、人類はかつてなく健康的な生活を営む可能性を手に入れました。しかし、社会と医療システムの複雑化のために、予にした加齢と技術を活用できておらず、特に高齢者や若年層に与えてしまうこともあります。新しい医療のあり方、患者本位の医療の質と安全を確保するシステムを探索し、実践に向けた取り組みをすすめることは、全ての医学研究者、医療者に課せられることです。医療の質とは何か、どのように医療の質を測り、高めるかは、医療の質・安全学のみならず医療経済学、医療政策学的重要な課題です。東先生は、UCLA公衆衛生大学院、京都大学大学院 田辺がん研究センターで医療の質、医療政策学を研究され、わが国における医療の質評価に関する第一人者です。今回は、医療の質と医療サービス研究についてお話いただける大変貴重な機会となっております。皆さまのご参加をお待ちしております。

主催：医療の質・安全学講座、医療の質・安全学講座、多職種人材育成のための医療安全教育センター
お問い合わせ：医療の質・安全学講座 田辺和英 kazuhiro@ga.nma-u.ac.jp

3 拠点設置記念シンポジウムを開催



2023年7月、文部科学大臣から「教育関係共同利用拠点」に認定されたことを記念し2月4日、医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点設置記念シンポジウムを開催しました。

シンポジウムは、石崎泰樹学長の挨拶により開会し、次に群馬大学多職種人材育成のための医療安全教育センターの齋藤貴之センター長から拠点の概要及びセンターの目指すビジョンについて説明がありました。

基調講演では、医学教育共同利用拠点として認定されている岐阜大学医学教育開発研究センターの西城卓也センター長より「拠点のインパクト：医学教育を例に」と題して講演があり、続いてFD講演会、パネルディスカッションが行われた。

オンラインとのハイブリットで開催した本シンポジウムは180名が参加し、盛況のうちに終了しました。



4 医療事故・紛争対応研究会セミナーをFDとして実施

医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点FD

2024年2月21日（水）18:00-20:15

（オンデマンド視聴期間：2月28日～3月5日）

視聴用URL：

<https://cmicgroup.zoom.us/j/94799897654?pwd=dHdpY01INTZPbTdKZzd4MTlvNkIpQT09>

ミーティングID：947 9989 7654 パスコード：396096

※ 機関申込をしているため、教職員の方はどなたでも無料で視聴いただくことができます。本学関係者以外は視聴できませんので、ご注意ください。



医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点FD

2024年2月22日（木）18:00-20:15

（オンデマンド視聴期間：2月28日～3月5日）

視聴用URL：

<https://cmicgroup.zoom.us/j/99005525200?pwd=VGlrQUJtdGY5R1pvaUxUcURBODBzZz09>

ミーティングID：947 9989 7654 パスコード：396096

※ 機関申込をしているため、教職員の方はどなたでも無料で視聴いただくことができます。本学関係者以外は視聴できませんので、ご注意ください。



医療事故・紛争対応研究会 ウェビナー 第1回



2024年2月21日（水）18:00-20:15

（末期医療2夜連続セミナー：1日目）

死につながる末期医療の中止：倫理・法・現場対応

1. 医療行為の差し控え・中止は許されないか？許容性と現場対応

慶應義塾大学大学院 前田 正一

2. いったん始めた医療行為の中止

（1）中止しないか？医療従事者の意識と行動

済生会熊本病院 澤村 匡史

（2）中止できないか？差し控えと中止の区別についての法・倫理の考え方

神戸大学 名誉教授 丸山 英二

主催：医療の質・安全学講座、医療の質・安全管理部、
多職種人材育成のための医療安全教育センター

医療事故・紛争対応研究会 ウェビナー 第2回



2024年2月22日（木）18:00-20:15

（末期医療2夜連続セミナー：2日目）

ACP/DNR：倫理・法・現場対応

1. ACP

アドバンス・ケア・プランニング：倫理・法・現場対応

神戸大学 丸山 英二

2. DNR

（1）DNRにかかる患者説明と課題

静岡県立静岡がんセンター 坪佐 恭宏

（2）家族同意を基にCPRをしないことは許されるか？

近年の関連裁判例を参照して

慶應義塾大学大学院 前田 正一

主催：医療の質・安全学講座、医療の質・安全管理部、
多職種人材育成のための医療安全教育センター

2024年2月21日（水）及び2月22日（木）（オンデマンド視聴期間2月28日～3月5日）に開催された医療事故・紛争対応研究会によるウェビナーを医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点FDとして実施しました。

ライブ視聴とオンデマンド視聴を合わせて168名が参加し、DNARや終末期医療の倫理的課題について勉強する貴重な機会となりました。

【参加者からの感想（抜粋）】

- ・ 個々の立場での実践、現場での教育につながる多くの学びが得られたようです。
- ・ 治癒や命を救うだけが医療ではなく、終末期になったと思われる判断をチームで行い、その際の治療選択を提示や一緒に検討していくことも必須である医療であることを改めて理解できた。必ずくる終末期について、当たり前を考える世の中になるようになるよう支援していきたい。

発行



多職種人材育成のための医療安全教育センター(PSEC)
<https://psec.med.gunma-u.ac.jp/>

